

# ナンバリング バイオサイエンス学科 科目ナンバー

帝京大学宇都宮キャンパスでは、2015年度カリキュラムから授業科目を適切に分類、識別する「科目ナンバー」を導入しています。

学修の順序を体系的に理解するためのもので、授業科目の選択や学修計画の作成に活用して下さい。

## 科目ナンバーの見方

5 A 3 4 5

学科コード

5	バイオサイエンス学科

識別コード

領域、水準等とは関係なく  
科目の識別のためのコード。

領域コード

A	必修科目
B	選択必修科目1
C	選択必修科目2
D	バイオサイエンス基礎系科目
E	実験系科目
F	生物工学系科目
G	環境系科目
H	食品健康系科目
I	植物系科目
J	動物系科目
K	生物構造情報系科目
L	医学薬学系科目
M	バイオ支援系科目

水準コード

1	入門
2	基礎
3	応用

## 授業科目表 (2021年度入学用)

## 〔バイオサイエンス学科〕

授業科目名		科目 ナンバー	学年	開講 時期	単位	DP1	DP2	DP3	DP4	備考
専門基礎科目 (コア科目)	必修 18 単位	情報基礎 1 [同]	5A101	1	前	2	○	○		
		情報基礎 2 [同]	5A102	2	前	2		○	○	○
		化学 1 [食・同]	5A103	1	前	2	○	○		
		化学 2 [食・同]	5A104	1	後	2	○	○		
		生物学 1	5A105	1	前	2	○			○
		生物学 2	5A106	1	前	2	○	○	○	○
		卒業研究 [実]	5A307	4	通	6		○	○	○
	選択必修 ※1 ※2 ※3	数学 1 [同]	5B110	1	前	2	○	○		
		数学 2 [同]	5B111	1	後	2	○	○		
		物理学 1 [同]	5B112	1	前	2	○	○		
		物理学 2 [同]	5B113	1	後	2	○	○		
		基礎遺伝学 [食]	5C121	1	後	2	○	○		
		基礎生化学 [食]	5C222	2	前	2	○	○		
		基礎微生物学 [食]	5C123	1	後	2	○	○		
		細胞生物学 [食]	5C224	1	後	2	○	○		
		核酸工学 [食]	5C225	2	後	2	○	○	○	
		生物物理学	5C126	2	前	2	○	○		
		基礎有機化学 [食]	5C227	1	後	2	○	○		
		微生物学実験 [食・実]	5E231	3	前	2		○	○	
		動物生理学実験 [食・実]	5E236	3	前	2	○	○	○	○
		食品科学実験 [食・実]	5E232	3	前	2		○	○	
		生物有機化学実験 [食・実]	5E233	2	後	2		○	○	
		生化学実験 [食・実]	5E234	2	後	2	○	○	○	
環境衛生学実験 [食・実]	5E235	3	後	2		○	○			
専門科目 選択科目	基礎生物学	5D160	1	前	2	○				
	バイオテクノロジー入門 [食]	5M141	1	前	2		○	○	○	
	機能生物学	5J261	2	前	2	○	○			
	分子遺伝学 [食]	5D242	2	前	2	○	○			
	ゲノム科学	5D243	3	前	2	○	○			
	生命進化と地球環境	5G344	3	前	2		○	○		
	生化学 [食]	5D245	2	前	2	○	○			
	応用微生物学 [食]	5D248	2	前	2	○	○			
	ウイルス学 [食]	5D249	3	後	2	○	○		○	
	動物生理学 [食]	5J250	2	後	2	○	○			
	神経科学基礎 [食]	5J251	2	後	2	○	○		○	
	行動神経学 [食]	5J352	3	前	2	○		○	○	
	生命機能学	5J262	3	前	2	○	○		○	
	生物分子機械－マイクロマシン	5F353	3	後	2		○	○	○	
	基礎バイオインフォマティクス (実習を含む) [実]	5K254	3	後	2	○	○	○		
	放射線生物学・R I取扱法 [食]	5G355	3	後	2	○	○		○	
	有機化学 1 [食]	5D156	2	前	2	○	○	○		
	有機化学 2 [食]	5D257	2	後	2	○	○			
	生物有機化学	5D347	3	前	2		○	○		
	基礎有機合成化学	5D363	3	後	2	○	○		○	
機器分析法 [食]	5D258	3	前	2		○	○			
分析化学 [食]	5D259	2	後	2	○	○				

- DP1 バイオサイエンス分野における幅広い知識と豊かな教養を身につけ、人々に信頼され、豊かな人間性を持って行動できる。
- DP2 バイオサイエンス分野が対象とする広範な自然科学の知識と総合的な思考力を活用して、生命、食料、環境問題など社会における様々な課題を自ら解決できる。
- DP3 バイオサイエンス分野の学習を通じて体得する多様な理論や方法論を活用して、専門分野のみならず、様々な社会分野で活躍できる。
- DP4 バイオサイエンス分野の知識と豊かな教養を醸成することにより生まれる豊かな感性によって、常に新しいことに興味を持ち、科学的な視点を持って新たな分野にも挑戦することができる。

授業科目名		科目 ナンバー	学年	開講 時期	単位	DP1	DP2	DP3	DP4	備考	
専 門 科 目	選 択 科 目	医学概論	5L360	3	後	2	○	○	○		
		環境衛生学 [食]	5G361	3	後	2		○	○		
		毒性学 [食]	5L362	3	前	2		○	○		
		微生物薬品化学 [食]	5L363	3	前	2	○		○	○	
		植物生理学 [食]	5I264	2	後	2	○	○			
		植物化学 [食]	5I265	3	後	2		○	○		
		植物分子生物学 [食]	5I366	3	前	2	○	○		○	
		植物バイオテクノロジー	5I364	3	後	2	○		○	○	
		発生生物学	5J267	2	前	2	○		○	○	
		生殖生物学	5J392	3	前	2	○	○		○	
		食品科学1 [食]	5H268	2	前	2	○	○			
		食品科学2 [食]	5H269	2	後	2	○	○			
		栄養と健康1 [食]	5H270	1	後	2		○	○		
		栄養と健康2 [食]	5H271	2	前	2		○	○		
		生物資源利用学 [食]	5H372	3	後	2	○	○			
		生命科学特論 [食]	5M373	3	前	2		○	○	○	
		技術業倫理 [同]	5M274	2	前	2		○	○		
		技術業人間学 [同]	5M275	2	後	2		○	○		
		実用英語1 [同]	5M176	3	前	1		○	○	○	
		実用英語2 [同]	5M277	3	後	1		○	○	○	
		実用英語3 [同]	5M378	4	前	1		○		○	
		バイオサイエンス基礎実験 [食・実]	5E179	2	前	1	○	○			
		バイオサイエンス特別実験1 [実]	5E380	4	前	1	○	○	○	○	
		バイオサイエンス特別実験2 [実]	5E381	4	後	1	○	○	○	○	
		プレインターンシップ [同]	5M282	2	後	1			○	○	
		インターンシップ [同]	5M383	3	通	2			○	○	
		ロボット製作演習1	5M384	1	前	1		○	○		
		ロボット製作演習2	5M385	2	前	1		○	○		
		特別講義	5M386	3	前	2	○				#
		地学概論 [教]	5E187	2	後	1	○	○	○	○	
物理実験 [教]	5E188	2	前	1	○	○	○	○			
生物学実験 [教]	5E189	2	前	1	○	○	○	○			
化学実験 [教]	5E190	2	前	1	○	○	○	○			
地学実験 [教]	5E191	2	後	1	○	○	○	○			

- 注1 ※1の4科目のうち、2科目を必ず修得すること。この場合4単位は「選択必修科目」の単位となり4単位を超えた分は「選択科目」の単位となります。
- 注2 ※2の7科目のうち、4科目を必ず修得すること。この場合8単位は「選択必修科目」の単位となり8単位を超えた分は「選択科目」の単位となります。
- 注3 ※3の6科目のいずれか2科目を必ず修得すること。この場合、4単位は「選択必修科目」の単位となり、4単位を超えた分は「選択科目」の単位となります。
- 注4 #印の科目の単位数は、内容により、1単位となることがあります。
- 注5 [教] 印の科目は、教職課程を履修登録していない学生は履修できません。
- 注6 [同] 印の科目は同じ名前または同一内容の科目が他学科にあることを示します。自学科のものを履修することを原則とします。
- 注7 [実] 印の科目は実験・実習科目ですので、他学科の学生が履修することはできません。
- 注8 [食] 印は食品衛生管理者及び食品衛生監視員資格の関連科目です。